

(自立支援型)個別地域ケア会議報告書

開催日		第2回 令和7年8月20日
包括支援センター名		包括支援センター熊川
		64歳 男性 要支援Ⅰ 妻、息子と三人暮らし
本人の望む暮らし/ 本人の思い		介護タクシーの仕事を続けながら自由に生きたい
現況及び問題点		本人が脳梗塞後の足のしびれを改善するリハビリだけをしたいと希望しており、介護予防のデイケアの内容を理解することが難しい。現在はデイケアを利用しているが本人が病院やデイケア事業所に頻回に問合せ、今のサービスに満足しない。医療機関でのリハビリとデイケアの違いをケアマネが理解していないため、相談を受けても適切な回答ができない
個別ケア会議での 会議要旨	理学療法士	医療のリハビリは機能の回復、治療を。デイケアは在宅生活の支援をするもの。本人は障害の受容ができていない。マンツーマンの自費のリハビリが適切かも。立川に脳梗塞リハビリセンターがあり実費のリハビリができる
	薬剤師	食事の様子から脳梗塞再発の危険が大きい。内服を忘れずに行ってほしい。薬で痺れは治せない
	歯科衛生士	水分摂取が少ないので脳梗塞の再発の心配あり。障害の受容ができないのは介護施設の相談員だったプライドからか？再発しないことが目標ではないか
	管理栄養士	痺れを改善するにはタンパク質ビタミンB12が必要 タンパク質は3時間程度で消化されるので、1日3食食べてほしい。家族の協力があればいい
	精神保健福祉士	生活が不規則である。家族の協力は得られないのか もっと食事に留意したほうがいい
	生活支援コーディネーター	ボランティアに興味があるようなので、リハビリがうまくすすんだら介護予防リーダーとして地域で活躍してほしい
	地域包括支援センター武蔵野	食事は妻が作ってくれればバランスのとれた食事が摂れる
担当ケアマネージャーの 意見。気づき		各専門職からのアドバイスで、障害の受容ができていない。脳梗塞の再発予防の視点がなかったことに気がついた。毎日の食事の重要性を伝えていきたい
まとめ		仕事以外に活躍できる場の紹介ができればいい

見えてきた地域課題

医療保険と介護保険の違い。介護保険とはどんなものか、家族も含め理解されていない。出前講座などで周知を図る
食事・栄養について気軽に相談できる場所があればいい

(自立支援型)個別地域ケア会議報告書

開催日		第2回 令和7年8月20日
包括支援センター名		包括支援センター加美
		82歳 女性 事業対象者(短期通所C利用中) 一人暮らし
本人の望む暮らし/ 本人の思い		あきる台公園のバラを歩いて見に行きたい 人との交流を増やしていきたい 専門職のリハビリを受けたい
現況及び問題点		家族が他界し、体力、気力が低下している 意識を失うような症状が2度あり(狭心症疑い) 外出に不安がある 無意識に相手を傷つけるような言動がある 通所Cが三カ月限定サービスで終了後どうするか 屈曲姿勢や床に近い所の掃除等は腰に大きく負担がかかる
個別ケア会 議での 会議要旨	理学療法士	活動に参加し、役割を持つ。歩く速度、片足立ち、握力や上下肢筋力など客観的な評価も必要 目的を見つけて役割を与えるのはどうか 卒業の声かけとしては、「片足立ちがここまでできるようになっているので、転倒のリスクが少なくなりましたね」などが効果的かと思う
	薬剤師	アイメッセージ。私を主語にして相手へ自分の感情や要望を効果的に伝えることを目的にしている。〇〇してくれたら私は嬉しい。など工夫して伝えてみてはどうか
	歯科衛生士	介護予防リーダー養成講座などに参加して、地域の力になってはどうか
	管理栄養士	デイサービスが心のよりどころになっているなら、デイの仲間を食事に誘ってみて、楽しく食事ができるといい。成功体験が大事になってくる。「お散歩イベント」は他市では参加者が多くいる
	精神保健福祉士	社協でやっている体操や自立している方の体操教室に参加してはどうか
	生活支援コーディネーター	歩いて行ける公園での体操、小地域福祉活動の紹介
担当ケアマネジャーの 意見、気付き		目的を見つけて役割を持つことが大切。本人をよく知り、伝える側もアイメッセージなどを活用し効果的に伝える手段を学ぶことが必要だと感じた
まとめ		各専門分野からの視点でご意見をいただき、今までと違った対応を取りいれ、その人らしい生活が送れるよう支援していきたい
その後の経過		通所Cで一緒だった方と週に1回集まっている

見えてきた地域課題	本人にあった社会資源をどう提供するか、タイミングにあった声かけの仕方
-----------	------------------------------------

(自立支援型)個別地域ケア会議報告書

開催日		第2回 令和7年8月20日
包括支援センター名		包括支援センター武蔵野
		80歳 女性 要支援2 一人暮らし
本人の望む暮らし/ 本人の思い		住み慣れた家で生活を続けていきたい 買い物に行きたいが移動手段がなくて困っている
現況及び問題点		パーキンソン病、脳幹管狭窄症のため移動が困難 屋外を歩く際は前傾姿勢になりがちなので、後ろにリュックを背負い バランスを保って歩いている 移動手段がなくて困っている方への対応
個別ケア会 議での 会議要旨	理学療法士	パーキンソン病はすくみ足、小刻み歩行、日内変動がみられます。早い段階から歩行器を導入した方が活動性を維持できます。姿勢反射障害がみられバランスを崩すと思われるので転倒予防、慎重な外出、ある程度の距離を安全に歩行する必要があります。あきる野市ではハイエースを使用した外出支援があります ※デマンド交通「チョイソコあきる野」
	薬剤師	病名にうつ病とありますが、服用している薬をみると双極性うつ症状なのではないでしょうか。ドグマチールという薬は服用していませんか。ドグマチールは副作用としてパーキンソンニズムがあります 睡眠薬は服用することにより夜間転倒するリスクが高くなります。夜間転倒を起こしにくい睡眠薬に変更を検討すると良いと思います。デパケン服用しておりますが別のものに変更するか減量するとよいと思います
	歯科衛生士	かみ合わせがしっかりしているか、かみ合っている歯がしっかりあるかが大切です。パーキンソン病は嚥下機能がおちてくることが考えられます。買い物手段としては移動スーパーを利用すると良いかもしれません。検討してみてもいいでしょう
	管理栄養士	現在の栄養状態は良好だと思われます。パーキンソン病は体重の減少がみられます。多く動く消費作用があるので気をつけてください。生協の宅配を頼むのはいかがですか。自分で選んで注文し、和えるだけで調理できるものもあるので良いと思います。検討してみてください
	精神保健福祉士	ほっとサービスを利用いただき付き添いをお願いする方法があります。費用はかかると思いますが、市民の方が登録しているので市民目線になるので良いと思います
	生活支援コーディネーター	ほっとサービスを利用して一緒に買い物に行く ネットスーパー、生協を利用する
担当ケアマネジャーの意見 気づき		それぞれの専門職からの意見を聞けて良かった。ご本人からはうつ病と聞いていましたが、服薬状況から双極性うつ症状ではないかと言われたので確認する。転倒防止の観点から歩行器の早期利用も検討していきたい

まとめ	どんなものを買に行きたいのか、時間を持てあましがちなので外に てたついでに何かを買いたいのか本人に確認し意向に沿った提案を する
見えてきた地域課題	長距離歩行が困難で買い物や通院に困っている高齢者が多い。福祉 バスも運行しているがバス停まで歩くことができない方もいる。新たな 交通手段を考える必要がある

(自立支援型)個別地域ケア会議報告書

開催日		第3回 令和7年11月19日
包括支援センター名		包括支援センター熊川
		83歳 女性 事業対象者 息子2人と3人暮らし
本人の望む暮らし/ 本人の思い		家にいるだけではなく、好きな外出をしたい ・映画を観たい（映画館でなくても近場でスクリーンなどで鑑賞できたらいい） ・誰かと一緒に旅行に行きたい（誰かと一緒だと心強く、何かあった時にすぐに相談できる）
現況及び問題点		体力や筋力の低下があり、外出することに対して一歩が踏み出せない。生活に支障のない認知機能の低下を自覚しており難聴もあるので他者との交流に自信がない 筋力や体力の低下があり、身体の歪みがあることから歩きすぎると腰痛が出現する
個別ケア会議での 会議要旨	理学療法士	運動ではなくデイサービスで「腰痛」に対してアプローチしていくのはどうか。園芸で水やりをすることで意欲向上を図り、育てた食品で料理をすることで人とつながる機会を作る。認知症予防にもなる。難聴があるので自分のテリトリーの話で会話がしやすくなり交流につながる
	薬剤師	映画を観るためには下半身の筋力がないと座ってられないので、運動しましょうか。の声かけしてをして運動してもらう
	歯科衛生士	まずは補聴器調整（耳鼻科受診）を含め、自分の身体を整える。かみ合わせはどうか、義歯が合っているかなどかかりつけ医がいるといい。咀嚼判定ガムを試してもいい
	管理栄養士	低めのハードルで意欲を促していく。難聴に対しては、スマホで文字おこしを活用し、自信につなげたらいいのでは
	精神保健福祉士	切手ボランティア活動はどうか 社協で開催されている麻雀に参加してはどうか
	生活支援コーディネーター	団地住民なら予約なしで参加できる少人数（8～12人）の体操教室が月1回行われてる。手芸活動をしているグループもある。映画鑑賞については、上映会が開催できるように検討したい
担当ケアマネジャーの意見 気づき		元氣塾卒業後、運動を継続することばかりに気をとられていたことに気づいた。いろいろなアプローチの方法を知ることができた
まとめ		その人にあった、その人の望む継続した支援

見えてきた地域課題	高齢者が地域で参加できる場の把握や情報提供と手段
-----------	--------------------------

(自立支援型)個別地域ケア会議報告書

開催日		第3回 令和7年11月19日
包括支援センター名		包括支援センター加美
		82歳 男性 事業対象者 一人暮らし
本人の望む暮らし/ 本人の思い		住み慣れた家で生活を続けていきたい。「一番お願いしたいことは散歩がしたいから見守ってくれること。後ろから見守ってくれて、めまいが出たときに救急車やタクシーを呼んでくれる人がいたら一番いい」
現況及び問題点		いつ起きるかわからないメニエール病によるめまいの不安があり、外出への不安がある。本人の状態的には一人で外出する能力は十分あると思われる。地域に長く住んでいるため近所に知り合いは多くいる屋内・屋外ともに歩行は自立している
個別ケア会議での 会議要旨	理学療法士	几帳面な方、興味関心が少ない方と感じます。訪問リハビリなどで個別で対応する方が本人に合っているかもしれません。めまいがいつ起きたのか、めまいがおきなかった時期を記録していく。記録をつけていくことで自信をつけていく第一歩となるのではないかと
	薬剤師	外出時、お守り代わりのめまいの薬を持参していくのはどうか
	歯科衛生士	楽しみがない方であることが心配。ヘルプマークをつけること。スマホのアプリで急な体調不良時に自分の情報を出せるものを利用している方がいた。緊急時、通行人に自分の情報を伝えられるようにすることで安心につながるのではないかと。散歩についてきてくれるボランティアを利用するのはどうか
	管理栄養士	めまいの起こしにくい運動をする。理学療法士による専門的な運動の提案をすることで安心につながるのではないかと
	精神保健福祉士	ほっとサービスなどは検討できないのか。お金の面から難しいケース
	生活支援 コーディネーター	地域の人と一緒に散歩するような関係の人はいないのか 理学療法士のいるデイサービスで屋外歩行のリハビリを受けるのはどうか
	主任介護支援 専門員	在宅用の緊急通報システムの対象疾患の幅を広げてもらうのはどうか
まとめ		ヘルプマークの使用 市でやっているスマホ教室の中に使えるアプリとして緊急用に自分の情報を伝えるアプリをいれてもらう
見えてきた地域課題		一人で外出する能力はあるが、自信がない、やりたがらない方への支援

(自立支援型)個別地域ケア会議報告書

開催日		第3回 令和7年11月19日
包括支援センター名		包括支援センター武蔵野
本人の望む暮らし/ 本人の思い		子供たちに迷惑をかけないように生きていきたい 良い出会いがあれば女性とも仲良くしたい 生活保護を受けているが、まだ働けるので働きたい
現況及び問題点		飲酒をやめられない。飲酒量を減らそうと努めているが、時に泥酔する。 就活をしているが就労先は見つからない。 通所系介護保険のサービスは断固拒否。近隣の体育館、公園での体操は積極的に参加しているが、泥酔して参加し出禁になったサークルがある 高齢者(自分より年上)との関りを望まない
個別ケア会議での 会議要旨	理学療法士	生活習慣を整えることが必要。お酒の飲み方を改善したい。就労に支障が出ないように飲酒を調整したい
	薬剤師	頻尿が心配。服薬を忘れることがあるようなので医師に相談して3回服用を2回にしてはどうか。てんかんがあるようなので活動にも注意は必要。服薬も継続が必要
	歯科衛生士	アルコール依存に関しては、断酒会に参加する。一人にならない時間を多くつくる。 就労については、障害者枠、高齢者枠で就活できないか
	管理栄養士	ビタミン類欠乏、低栄養の可能性あり。アルコールは栄養のないカロリー摂取になる。栄養を摂って筋力をつける必要がある
	精神保健福祉士	飲酒の隙を与えないのは無理か?シルバー人材センターは草刈りをする人が足りないと聞いている、もう一度問い合わせては?市役所の10番窓口で就労の相談をしてみてもどうか
	生活支援コーディネーター	断酒会などに参加してアルコールの摂取量がコントロールできるようになれば就労の窓口も広がるのでは
	地域福祉コーディネーター	なんらかのボランティアなら紹介できる。切手ボランティアはどうだろうか
担当ケアマネジャーの意見 気づき		本人の働く意思は大切なことなので再度就活は必要。生活保護受給者なので就労意欲が衰えないように話をしていきたい。 アルコールをとめるのは難しい
まとめ		意欲をなくさないように就活を続けてもらう。アルコール摂取量のコントロールができるようにしたい

見えてきた地域課題	高齢者の就労、就労につながる情報の発信
-----------	---------------------